

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達療育 レンテ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～	2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20件	(回答者数)	12件
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～	2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2件	(回答者数)	1件
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に応じた児童発達支援計画（個別支援計画）の作成と、計画に沿った専門的な支援。	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な時間をかけて職員研修を行っている。</li> <li>常駐のスーパーバイザーが専門的なアセスメントを実施、支援内容、支援の質を確認している。</li> </ul>	更に研修機会を充実させ、各職員が専門的な知識、技術を磨いていく。
2	支援内容や、こどもの発達の状況について、保護者と共通理解ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別セラピーではその日ごとに、グループセラピーでは毎月の面談の中で、保護者と指導状況や成長点、課題点の共有を行っている。</li> <li>通常と異なる、気になる言動が見られた時等、メールやLINEを活用して保護者と情報共有、必要に応じて面談を行っている。</li> </ul>	相談しやすい信頼関係を築けるよう、積極的に保護者に声をかけ、コミュニケーションを増やす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境整備が十分ではない。	個室のスペースを十分に用意している為、集団活動のスペースとしては手狭になる時がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋の移動が可能なグループは、別室に移動して体を動かす活動を実施する。</li> <li>安全管理に十分な職員配置が可能な際、公園遊びを増やし、屋外で体を動かす活動を実施する。</li> </ul>
2	地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	コロナ禍もあり、公園遊び、外出プログラムの実施機会が減っていた。	安全管理に十分な職員配置が可能な際、公園遊びや外出プログラムの実施を増やす。
3	保護者同士の関わりの場やイベントの開催、SNSなどを通じた情報発信がない。	ニーズが少なく、個人情報保護の観点も踏まえ、必ずしも行うべきという意識ではない。	様々なご意見や時勢など総合的に考え、安全かつご満足いただける対応を検討。